

# 迎春 2023年元旦



第1132号 2023.1.1  
連合中越地域協議会  
長岡市愛宕3-7-24  
TEL 0258-86-0111  
FAX 0258-86-0884  
発行人 矢島 良彦  
定 価 1部10円  
購読料は会費に含む



新春にあたり  
連合中越地域協議会  
議長 矢島 良彦

新年あけましておめでとうございます。本年もコロナ禍ではありますが、中越地協の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。さて、消費者物価が3%を超えました。日銀のインフレターゲット2%超も今になってしまえば何だったのかと疑いたくなる今日この頃です。スタグフレーションを起しています。そもそも賃金が上がってこない中で、アベノミクスは本心に政策として正しかったのか疑問が残ります。構造的デフレがこの国の経済を蝕んできたことは事実で、企業価値で世界のトップテンに入る日本の企業は皆無です。トヨタ自動車さえ三〇位代なのです。失われた三〇年です。世界の経済構造は大きく変わりました。先の企業価値の上位と言え、アップルです。いくつかのIT関連企業が上位につけています。製造業大国であった日本が今では韓国や台湾企業に負けています。同時にこの間で起こったのが派遣業法等の雇用区分の改訂により、企業の負債整理や人件費カットによる雇政策へ一気に加速してしまっただけです。IT分野へ舵を切ろうにも企業体力が疲弊した中では無理が生じます。国力と同時に企業の価値もどんどん下落していったのでこの三〇年です。一方で企業の内部留保は過去最高額を年々更新している矛盾もあります。

そして、ここに来て政労使で賃金改善を声高に言っておりますが、そもそも欧米と比較した場合、賃金改定のシステムが異なるわけで、単位組合が無い(産業別組合はある)諸外国との賃金決定システム違いがより大きく出てきたのが昨今の官製春闘と言われますが、これは日本の賃金決定システムではないのです。ジャパン・アズ・ナンバワンと言われ、諸外国から羨望の目で見られた日本の経営の三種の神器、終身雇用、年功賃金、企業内労働組合、その構造がもはや制度疲労をおこしてないか、特に企業内労働組合は、その意義や責任を欧米の産業別組合のように厳しく経営と対峙しているのか振り返る必要があります。このままでは物価上昇に追い付けない賃金が延々と続く可能性ががあります。この負のサイクルを打破することが我々労働組合のリーダーに課せられた大きな課題です。成果を出す行動に転換することが求められています。

しかし、令和4年「労働組合基礎調査」の結果を(厚生労働省発表)を見ると、六月三十日現在の組合員数は、前年より86,000人減(0.8%減)の9,992千人に減少し、単一労働組合の数は、前年より346組合減(1.5%減)の230,346組合となりました。また、連合の組合員数は4万2千人減少し683万人7千人となりました。つまり労働組合離れも進んでいるのです。今まさに問われていることは、日本の経営の中で養ってきた労働組合の本質です。来るべき賃金闘争で組合員の、または社会の賃上げ要請に成果として応えていかなければ、信頼の失墜は加速してまいります。労働組合は労働者の地位向上の為にあります。この信頼の失墜にならないために春闘で成果を挙げましょう。そして、「働くことを軸とする安心社会」まもる・つなぐ・創り出す」は2035年を展望した新たな政策パッケージと共にあります。地域協議会はその具体的活動行動に起こす役割を担っています。特に組合作りは最重要課題です。地域に顔の見える地協運動とは、社会的責任を果たす労働組合の行動にも寄与するものです。大変な時代ですが共に頑張っていきましょう。皆様の益々のご健勝・ご活躍を祈念申し上げ、新年のご挨拶いたします。

あけまして  
おめでとーうございませす



- |      |                |          |
|------|----------------|----------|
| 議長   | 矢島 良彦          | U A セン   |
| 副議長  | 五十嵐 聡          | U A セン   |
| 副議長  | 野田 耕作          | J A M 新潟 |
| 副議長  | 永井 研           | 電機連合     |
| 副議長  | 番場 睦           | J P 労組   |
| 副議長  | 猪股 和樹          | 電力総連     |
| 事務局長 | 横澤 勝之          | 自治労      |
| 事務局長 | 清水 賢志          | 日教組      |
| 事務局長 | 中村 憲和          | 自治労      |
| 幹事   | 飯田 浩二          | U A セン   |
| 幹事   | 田部 翔太郎         | J A M 新潟 |
| 幹事   | 押野 見拓哉         | ヘルスクエア協  |
| 幹事   | 星野 弘樹          | 自動車総連    |
| 幹事   | 石坂 拓朗          | 情報労連     |
| 幹事   | 山口 学           | 運輸労連     |
| 幹事   | 岡村 和宏          | 私鉄総連     |
| 幹事   | 米持 信也          | 基幹労連     |
| 幹事   | 安田 亮介          | J E C 連合 |
| 幹事   | 遠藤 元治          | 見附地区支部   |
| 幹事   | 五十嵐 厚          | 小千谷支部    |
| 幹事   | 小嶋 高則          | 北魚沼支部    |
| 幹事   | 登坂 仁           | 南魚沼支部    |
| 幹事   | 長谷川 邦彦         | 十日町支部    |
| 幹事   | 齋藤 雅哉          | S J ネット  |
| 幹事   | 夏井 佑           | S J ネット  |
| 幹事   | 渡辺 陽介          | S J ネット  |
| 幹事   | 萩野 宗次朗         | S J ネット  |
| 幹事   | 岡地 英紀          | 紙パ連合     |
| 幹事   | 齋藤 朱里          | 全労金      |
| 幹事   | 木田 由紀子         | 事務局      |
| 書記   | 新潟県ライフサポートセンター |          |
| 相談員  | 金内 孝永          | 事務局      |
| 相談員  | 丸山 斉           | 事務局      |
| 相談員  | 佐々木 光子         | 事務局      |
| 相談員  | 皆川 清市          | 事務局      |



# 新年のごあいさつ

長岡市長 磯田 達伸

明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。  
 連合中越の皆様におかれましては、日頃から勤労者の地位向上や福祉の充実のため、積極的に事業に取り組まれるとともに、行政や関係機関との橋渡し役としてご尽力いただき、心から感謝申し上げます。  
 特に、連合中越をはじめとする関係団体の皆様が運営する、新潟県ライフサポートセンターでは、専門家との連携により、雇用から家庭に関する問題まで幅広く生活に寄り添った相談支援を実践されるなど、大きな役割を果たしておられます。今

後も、市内の勤労者の皆様のよりどころとして、支援のさらなる充実を期待しております。  
 長期化する感染禍に加え、物価高騰や急激な円安など、社会経済環境は大きな変化に直面しています。こうした中、長岡市はポストコロナを見据えた成長政策を力強く展開してまいります。

「長岡北スマート流通産業団地」には21社の進出が決定し、現在6社の稼働が始まり、最終的には団地内で1,000人の雇用を見込んでいます。新たな企業進出により、雇用の創出と定住人口の増加につながってまいります。

さらに、JR長岡駅周辺エリアでは、首都圏企業のサテライトオフィスの開設が相次ぎ、コワーキングの民間拠点も次々に誕生しています。長岡で暮らしながら首都圏企業にリモートワークで勤める新しい働き方「ナガオカワーカー」の取り組みも大きく広がり、イノベーション都市を目指す政策の成果が表れてきています。

今後も、地方分散の流れを的確に捉え、働く場の創出や女性活躍の推進と多様性（ダイバーシティ）の確保、産業界のデジタル化・DX支援に取り組み、地域経済の好循環につながってまいります。

いよいよ今年7月、人材育成と産業振興の拠点「米百俵プレイス ミライエ長岡」が先行オープンを迎えます。市内4大学1高専が持つ知識と人材、ものづくり企業の集積を活かし、産学官金が連携を深め、若者の起業・創業や産業ビジネスを支援するエコシステムが始動します。多くの人が集い、楽しみ、交流する中で、イノベーションが次々に生まれ、新しい価値の創造による活力あるまちづくりを推進してまいります。

長岡市は引き続き、市民生活と地域経済を全力で守り、勤労者の皆様が安心していきいきと働くことができる環境づくりを進めてまいりますので、皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして健やかで実り多い年になりますことを心から祈念し、新年のあいさつといたします。



# 新年のごあいさつ

見附市長 稲田 亮

新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。  
 連合中越の皆様におかれましては、日頃より勤労者の地位向上や福祉の充実に積極的に取り組まれていることに、深く御礼申し上げます。  
 「光陰矢の如し」と申しますが、一昨年12月の選挙を経て市長に就任してから、瞬く間に1年が経過いたしました。この1年間、職務を通して多くの市民の皆様や市内事業者の方々と対話を重ねる中で、市長としての重責を実感し、日々身の引き締まる思いでございます。

さて、昨年は全国的に災害が多発し、県内でも8月の県北豪雨災害は大きな被害をもたらしました。いつ、どこで起きるか分からない災害に対し、昨年市では例年の防災訓練に加え、自主避難ができない要支援者の「個別避難計画」を検証する避難訓練や、地震を想定した市職員の初動対応訓練などを新たに行いました。これらの訓練の結果を踏まえ、新年はこれまで以上に防災体制を強化してまいります。

また、昨年から続くコロナ禍での物価高騰は、市民一人ひとりの生活に大きな影響を及ぼしています。物価高騰に対しては、昨年より、市民全員とこれから生まれてくる赤ちゃんも対象とした見附応援商品券を配布しています。1月からは、市内の小・中・特別支援学校、保育園、幼稚園の給食費を無条件で3か月無償化する取り組みも進めていきます。今後も引き続き、市民の皆様生活をしっかりと下支えしてまいります。

私は就任以来、市民の皆様暮らしを重視し、誰もが「暮らし満足No.1のまち」だと思える見附にすることを究極の目標としています。目標達成にはさまざまな課題がありますが、中でも人口減少・少子高齢化への対応は「待ったなし」と考えています。人口減少の抑制には、若者や子育て世帯が見附に「住み続けたい」「住みたい」「戻ってきたい」と思えるまちづくりが重要です。新年は、新町に小児科を含む3つの医院が開院する他、学校町の旧店舗跡地に子どもの居場所（仮称）もオープンを予定しており、見附の住環境や子育て環境が大きく向上する年になると確信しております。

私が就任から継続している「ふれあい懇談会」では、さまざまな年齢、性別、職業の市民の皆様と対話を重ねてまいりました。多様な市民の皆様意見とともに、昨年着任した「地域力創造アドバイザー」など外部の知見を活用し、時代に合った新たな取り組みを積極的に実行してまいります。

見附の強みである地域コミュニティや市民団体の力はもちろん、市内事業者をはじめとしたあらゆる力を結集し、新年も引き続き「輝く見附の未来を見据えたまちづくり」を進めていきます。市民の皆様におかれましても、ご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、新年が皆様にとって幸多き素晴らしい年となりますことを心よりお祈り申し上げ、新春のごあいさつとさせていただきます。



新春のお慶びを申し上げます  
 本年も変わらぬご愛顧を  
 賜りますようお願い申し上げます  
 二〇二三年元旦

ろうきんイメージモデル  
高梨 臨

## 恭賀新春

皆様におかれましては、お健やかに  
新春をお迎えのことと存じます  
 本年も倍旧のご愛顧のほど  
ひとえにお願い申し上げます

2023年 元旦



こくみん共済 coop  
公式キャラクター  
ピットくん

たすけあいの輪をむすぶ

# こくみん共済

全国労働者共済生活協同組合連合会 COOP

新潟推進本部  
(新潟県総合生活協同組合)